

公益財団法人 新潟市スポーツ協会
平成30年度 第2回臨時理事会議事録

1. 日時 平成30年10月30日(火曜日) 自16時00分 至16時45分
2. 場所 市陸上競技場第4会議室 新潟市中央区一番堀通町3-1
3. 理事現在数及び定足数

現在数 25名 定足数 13名

4. 出席状況

(1) 出席理事(22名)

副会長: 山内春夫、荻荘 誠、坂上 昭、中静浩一、前田秀子

専務理事: 笠原一男

常務理事: 武藤正明

理事: 青木祐一、五十嵐治、磯部 博、大山利幸、久保田吉汎、小池 功、
小林正樹、齋藤喜慶、坂井貞夫、塩田純三郎、田村千恵子、
中倉一浩、羽下 仁、松尾正行、丸山和子

(2) 欠席者(3名)

篠田 昭(会長)、大森 豪、松木 保、

(3) 出席監事(2名)

湊谷茂彦、川島朝臣

(4) 欠席監事(1名)

中野 力

(5) 議案説明及び報告

笠原専務理事、椎谷事務局長

定刻、篠田会長が所用により欠席のため、冒頭に山内副会長が挨拶を述べた後、議長は本協会定款第33条2項により山内副会長が議長となり、開会を宣言した。事務局は、理事現在数25名、うち出席者22名、欠席者3名により、公益財団法人新潟市スポーツ協会(以下本協会という)定款第34条第1項にもとづき、本理事会は適法にして有効に成立している旨、報告を行なった。また、議事録記署名人は当協会定款第36条第2項にもとづき、副会長及び監事になる旨を告げた。

5. 議決事項

第1号議案 臨時評議員会の招集について

6. 報告事項

(1) 篠田会長辞任届けについて

7. 議事顛末

第1号議案 臨時評議員会の招集について

椎谷事務局長は第1号議案について上程、評議員会の招集について説明した。

本議案は慎重審議の結果、出席理事全員一致で可決された。

なお、評議員会には理事会を代表して山内副会長・荻荘副会長・坂上副会長・中静副会長・笠原専務・湊谷監事・川島監事の7名が出席を予定。

報告事項 篠田会長辞任届けについて

笠原専務理事は、新潟市長任期満了に伴い篠田会長より辞任届（辞任日：平成30年11月17日）が10月1日付で提出された旨を報告した。

また、参考資料の本協会歴代会長一覧により、会長職については設立当初から市長が就任している旨を説明した。

本件について、以下の意見があった。

（中倉理事）周辺市町村スポーツ協会においては、経済界の人物が会長を務めており、市長が務めているところは少ない。例えば、副会長の中から立候補しても良いと思う。今回は急な発言でもあるため難しいかもしれないが、方向性については今後考えていくべき。各副会長の意見も伺いたい。

（山内副会長）経済界の人物が会長を務める他都市の協会では、財団の財政基盤について市補助金以外から収入を得ている場合が多く、当協会の現状から考えると市長以外に依頼するのはなかなか難しいと考える。

この件については今後色々な面で論議する必要があると思うが、新市長による今後のスポーツ行政の方向性や、市と本協会との連携等を確認した上で動いても遅くはないと思う。ここで方向性が分かれるよりは、理事会として新市長に会長就任をお願いしたい。

（坂上副会長）協会は、強化と普及という役割があり、協会の趣旨に沿って新市長がスポーツに前向きに動いてくださるのであれば会長職については市長から就任をお願いしたい。

（中静副会長）新市長になり、未来あるジュニア選手のために予算付けをして頂けるようになればありがたい。

議長は、経済界からの会長選任については、本協会のあり方を論議するなかで今後の検討事項としたい旨を発言した。また、次期会長については理事会の方向性としては新市長に会長を依頼する方針で今後議事を進めていきたい旨を理事に提案し、承諾を得た。

8. その他

椎谷事務局長は、会長選出に係る今後のスケジュールについて説明を行なった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時45分、議長は閉会を宣し解散した。

上記の決議を明確にするため、副会長及び監事は次に記名押印する。

なお、湊谷監事 急逝のため、記名押印は以下2名とする。

平成30年10月30日

公益財団法人新潟市スポーツ協会 平成30年度第2回臨時理事会

副会長 山内春夫

監事 川島朝臣

